

(仮称) 諏訪湖スマートインターチェンジ地区協議会 設立趣意書

岡谷市、諏訪市は、長野県のほぼ中央部に位置し、御神渡りで有名な諏訪湖に面し、富士山や八ヶ岳を望む風光明媚な景観が望めます。諏訪地域は高度な技術力を誇る企業が集積し、精密加工業が盛んな地域であり、諏訪大社や温泉、美術館・博物館などが集まる観光地でもあります。

しかし、近年多発する局地的な豪雨による被害、大規模災害時への迅速な救護活動のための物資輸送手段の確保が急がれています。加えて、道路渋滞により、工業団地からの計画的輸送ができない、観光資源へのアクセスがしにくいなどの問題が生じています。

本スマートインターチェンジ設置は、地域道路や既存インターチェンジの渋滞緩和が望め、産業のさらなる発展、観光客の増加、災害時・緊急時の重要輸送路の確保、2027年開業予定のリニア中央新幹線駅との連携による交流圏拡大拠点として、将来の大きな地域活性化に寄与するものと期待されます。

このため、国土交通省、長野県、長野県警察本部、中日本高速道路株式会社等関係機関と連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な調整、検討を行い、開通後も継続して安全性、採算性、管理・運営方法等を定期的にフォローアップし、必要に応じて見直す場として「(仮称) 諏訪湖スマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

令和元年 8 月 20 日

岡谷市長 今 井 竜 五

諏訪市長 金 子 ゆ か り